令和６年度をふりかえって

ラグビーフットボール専門部

はじめに、京都府中学校体育連盟の先生方ならびに各学校の顧問の先生方、各専門委員の先生方、会場を提供していただいた関係諸団体，また、大会運営にご尽力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げ、令和６年度京都府中学校総合体育大会の報告をさせていただきます。

全１９チームが参加し９月７日(土)から１０月１９日(土)までの毎週土曜日に試合を行い、全７日間の日程で大会を行った。会場はＳＢＳロジコム吉祥院公園球技場、山城総合運動公園を使用させていただいた。

ベスト８に顔を揃えたのは、藤森中、京都ＯＲＣＡ、神川中、洛南中、上京中、修学院中、長岡第二中、伏見中であった。

準決勝に駒を進めたのは藤森中、洛南中、上京中、伏見中の４校であった。

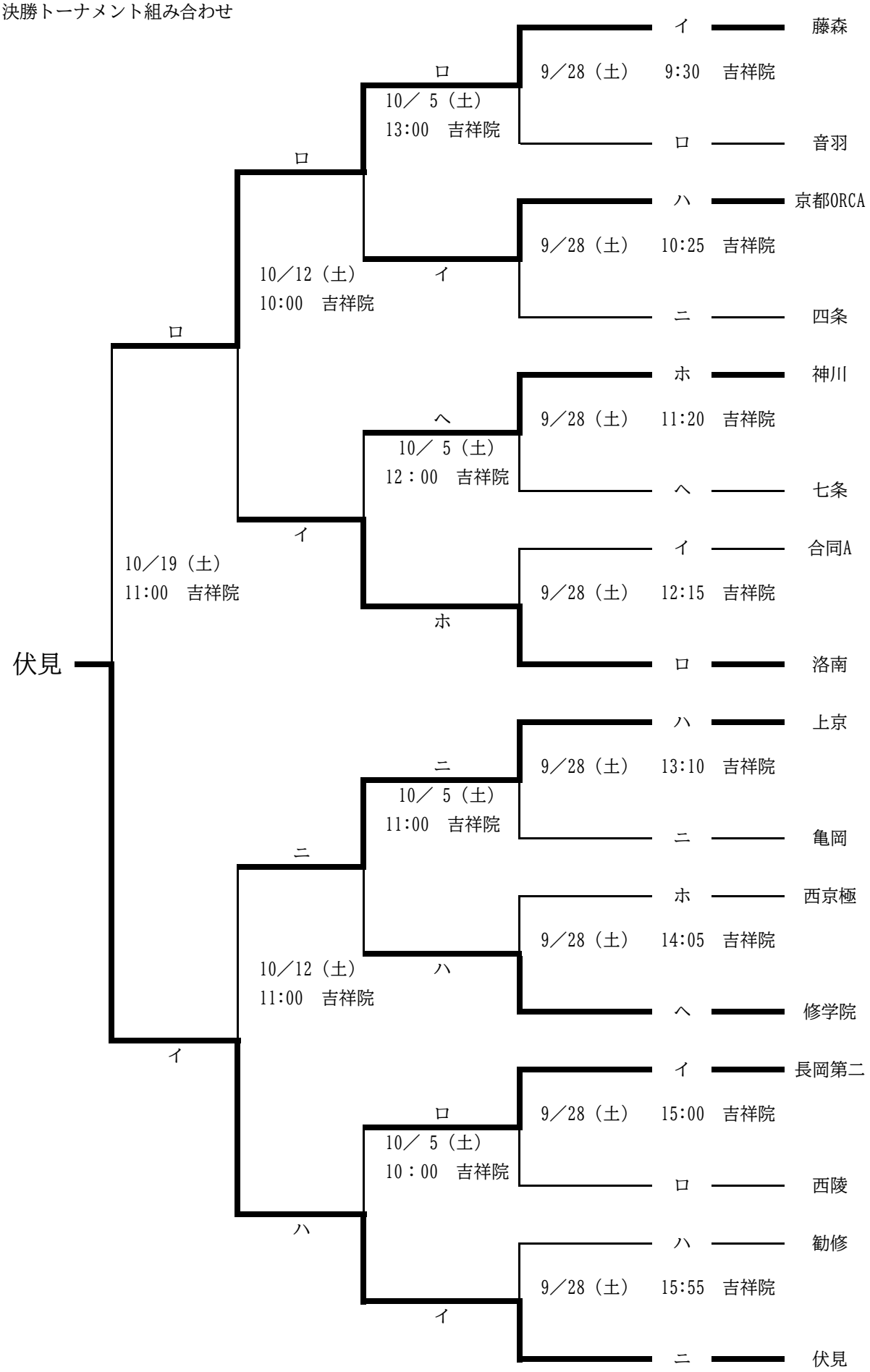
準決勝第１試合は藤森中と洛南中との対戦となる。開始早々から一進一退の攻防が続く好ゲームとなった。前半３分、モールから洛南中がトライ。前半７分、藤森中がラインアウトからトライを奪う。前半１８分、藤森がボールを展開、トライを重ねる。前半終了間際に洛南中がＰＧを成功させ、前半終了時点で１２－１０。後半は洛南中が７分、１５分に２つのＰＧを成功させ逆転する。粘る藤森中は終了間際の後半１８分にモールからトライを奪い、再逆転しノーサイド。最終スコア１９－１６で藤森中が勝利。準決勝第２試合は上京中と伏見中との対戦となる。先制したのは上京中。前半１２分に巧みにスペースを突きトライ。前半１８分、伏見中が大きくボールを展開しトライを奪う。前半ロスタイムにも伏見中がトライを奪う。後半に入ると伏見中が力を発揮する。後半５分、１２分、１５分、１７分にトライを奪う。上京中も粘りを見せ、後半１９分、２１分にトライを奪うが反撃もここまで。最終スコア１５－４０で伏見中が勝利した。

決勝は伏見中と藤森中との春体決勝と同一カードとなった。試合開始から緊迫感のある一進一退の攻防が続く。最初に均衡を破ったのは伏見中。前半４分に藤森ラインアウトを奪取しトライを奪う。前半９分、藤森がスクラムからボールを展開しトライを返す。前半１２分、伏見中がラインアウトからモールを押し込みトライを奪う。前半１４分、藤森中がキックカウンターからパントを上げ、ボールを再獲得し、トライを奪う。前半は１０－１４、藤森中リードで終了する。後半に入ると伏見中が試合を優位に運び３トライを奪い、藤森中への反撃の隙を与えなかった。後半５分、ラインアウトを奪取しトライ。後半１２分、強力なＦＷ陣がラインアウトからモールを押し込みトライ。後半１９分、敵陣ゴール前からボールを展開しトライ。最終スコア２７－１４。伏見中が春夏連覇を果たした。

以上の結果から近畿大会には伏見中学校と藤森中学校が出場した。

伏見中の１回戦の相手は大阪府代表の東海大学附属大阪仰星高等学校・中等部との対戦となる。試合序盤から東海大仰星中に主導権を握られる苦しい展開となる。必死のディフェンスで必死に食らい付くがＦＷ、ＢＫが一体となった多彩な攻撃に翻弄され、前半終了時点で０－１９とリードを許す。後半早々に伏見中は反撃に出る。仰星陣内ゴール前スクラムよりボールを展開しトライを奪う。しかし、勢いにのった仰星中等部の流れを変えることはできなかった。後半８分、１０分、１５分とトライを許し、５－３６で伏見中は１回戦敗退となる。

藤森中の１回戦の相手は奈良県代表の天理ラグビークラブジュニアであった。開始から一進一退の攻防が続く。前半７分、天理クラブジュニアはラインアウトから展開しトライ。前半１２分、１４分、藤森中はグラウンド大きく使ってボールを展開し２トライを奪う。前半１９分、天理クラブジュニアはキックパスからトライを奪う。前半終了時点で１２－１０と藤森中リード。後半もシーソーゲームは続く。後半４分、天理クラブジュニアはスクラムからボールを展開しトライを奪う。後半１２分には藤森中が天理陣内スクラムよりボールを展開しトライを奪う。後半２０分にも藤森中は天理陣内スクラムよりボールを展開し最後はキックパスからトライを奪う。藤森中リードのまま試合はロスタイムに入る。後半２１分、天理クラブジュニアは藤森陣内ゴール前ラックよりボールを持ち出し逆転トライを奪う。ここでノーサイド。最終スコア２２－２４。藤森中は惜しくも１回戦敗退となる。

最後になりましたが、中体連の先生方、専門委員の先生方、顧問の先生方、並びに教育委員会、ラグビーフットボール協会のご協力により、大会を無事終了できましたことを報告しますとともに、厚く御礼申し上げます。

決勝トーナメント組み合わせ